中学校歴史 単元別学習 90 問

第 12 単元 開国と江戸幕府の滅亡

範囲：外国船への対応／開国と条約／貿易と尊王攘夷／倒幕と政権交代
用語を確かめ、対外政策の転換と、暮らし・政治の変化のつながりを説明しよう。

STEP 1 一問一答 50 問

外国船の来航と幕府の対応

問 1　1792 年、通商を求めて根室に来航したロシアの使節は誰か。

問 2　1804 年、通商を求めて長崎に来航したロシアの使節は誰か。

問 3　1825 年、近づく外国船を砲撃して追い払うよう幕府が命じた法令は何か。

問 4　1837 年、日本人漂流民を乗せたアメリカ商船が砲撃された事件は何か。

問 5　1839 年、幕府の対外政策を批判した蘭学者らを処罰した事件は何か。

問 6　蛮社の獄で処罰された、画家としても知られる田原藩の蘭学者は誰か。

問 7　『戊戌夢物語』でモリソン号への対応を批判し、蛮社の獄で投獄されたのは誰か。

問 8　1842 年、外国船に燃料・水・食料などを与えて帰すよう定めた法令は何か。

問 9　1853 年、艦隊を率いて来航し、開国を求めたアメリカの使節は誰か。

問 10　1853 年、ペリーの艦隊が最初に到着した、江戸湾の入口にある場所はどこか。

開国と不平等条約

問 11　1854 年、日本とアメリカが結んだ、和親と船への補給などを定めた条約は何か。

問 12　日米和親条約で、アメリカ船への補給などのために開かれた二つの港はどこか。

問 13　下田に着任し、幕府に通商条約の締結を求めたアメリカ総領事は誰か。

問 14　朝廷の許可を得ずに通商条約を結ぶ方針を進めた、幕府の大老は誰か。

STEP 1 一問一答 50 問 続き

問 15　1858 年、日本とアメリカが結んだ、本格的な貿易を認める条約は何か。

問 16　1859 年に開港し、生糸などの輸出で貿易の中心となった港はどこか。

問 17　日本で罪を犯した自国民を、外国の領事が裁判できる権利を何というか。

問 18　輸入品などにかける関税の税率を、自国で決める権利を何というか。

問 19　幕末の通商条約のように、主権を制限する対等でない条約を何というか。

貿易の影響と政治の動揺

問 20　開港後、日本の主要な輸出品となった、繭から取った糸は何か。

問 21　生糸と並ぶ主要な輸出品で、主に飲料として利用された農産物は何か。

問 22　金銀の交換比率が海外と異なったため、開港後に大量に国外へ流出した金属は何か。

問 23　天皇を尊ぶ考えと、外国勢力を追い払う考えが結び付いた運動を何というか。

問 24　井伊直弼が、条約や将軍の後継者問題などの反対派を処罰した弾圧は何か。

問 25　松下村塾で若者を教え、安政の大獄で処刑された長州藩の思想家は誰か。

問 26　1860 年、井伊直弼が江戸城の門の外で暗殺された事件は何か。

問 27　朝廷と幕府が協力して、政治を安定させようとする考えを何というか。

問 28　公武合体を進めるため、第 14 代将軍に嫁いだ天皇の妹は誰か。

問 29　和宮と結婚し、第 2 次長州征討の途中で亡くなった第 14 代将軍は誰か。

攘夷の行き詰まりと薩長同盟

問 30　1862 年、島津久光の行列に接近したイギリス人らを薩摩藩士が襲った事件は何か。

問 31　生麦事件を背景に、1863 年に薩摩藩とイギリスが戦った戦争は何か。

問 32　1864 年、四国連合艦隊の攻撃を受けた、長州藩の港はどこか。

問 33　長州藩で奇兵隊を組織し、藩の政治を転換する動きにも加わった人物は誰か。

問 34　高杉晋作が組織した、武士以外の人々も参加した長州藩の部隊は何か。

問 35　1866 年、薩摩藩と長州藩が協力を約束した同盟は何か。

問 36　中岡慎太郎らとともに、薩摩藩と長州藩の提携を仲介した土佐出身の人物は誰か。

問 37　薩摩藩の中心人物で、薩長同盟や新政府軍の指導で活躍した人物は誰か。

倒幕と政権の返上

問 38　桂小五郎とも呼ばれ、薩長同盟を進めた長州藩の中心人物は誰か。

問 39　西郷隆盛らとともに薩摩藩の政治を動かし、倒幕を進めた人物は誰か。

問 40　1866 年の幕府の第 2 次征討を退け、幕府の権威を弱めた藩はどこか。

問 41　1867 年に大政奉還を行った、江戸幕府の第 15 代将軍は誰か。

問 42　1867 年、将軍が朝廷に政権を返上したことを何というか。

問 43　1867 年 12 月、幕府を廃止し、天皇中心の新政府を示した宣言は何か。

問 44　薩摩藩・長州藩などと協力し、王政復古を進めた公家は誰か。

政権交代と民衆の動き

問 45　1868 年から翌年まで、新政府軍と旧幕府側の勢力が戦った内戦を何というか。

問 46　1868 年 1 月、京都付近で起こった、戊辰戦争の始まりとなる戦いは何か。

問 47　幕府側の代表として西郷隆盛と交渉し、江戸城の開城に尽力した人物は誰か。

問 48　1868 年、江戸への総攻撃を避け、戦闘をせずに城を明け渡したことを何というか。

問 49　1867 年ごろ、神札が降ったなどといって、人々が集団で踊り歩いた騒動は何か。

問 50　幕末、世の中の立て直しを求め、豪農や豪商なども攻撃した一揆を何というか。

STEP 2 歴史の並び替え 20 問

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 1　ロシアの接近と打払令

ア ラクスマンが根室に来航する　　イ 幕府が異国船打払令を出す
ウ モリソン号が砲撃される　　エ レザノフが長崎に来航する

問 2　対外政策をめぐる変化

ア モリソン号が砲撃される　　イ 蛮社の獄が起こる
ウ ペリーが浦賀に来航する　　エ 幕府が薪水給与令を出す

問 3　打払いから開国へ

ア 幕府が異国船打払令を出す　　イ ペリーが浦賀に来航する
ウ 幕府が薪水給与令を出す　　エ 日米和親条約が結ばれる

問 4　アメリカとの交渉

ア ハリスが下田に着任する　　イ 日米和親条約が結ばれる
ウ 日米修好通商条約が結ばれる　　エ ペリーが浦賀に来航する

問 5　二つの条約と貿易

ア 日米修好通商条約が結ばれる　　イ 横浜が開港する
ウ 日米和親条約が結ばれる　　エ 桜田門外の変が起こる

問 6　開港後の政治の動揺

ア 桜田門外の変が起こる　　イ 日米修好通商条約が結ばれる
ウ 生麦事件が起こる　　エ 横浜が開港する

問 7　政治の事件と攘夷戦争

ア 生麦事件が起こる　　イ 桜田門外の変が起こる
ウ 四国連合艦隊が下関を攻撃する　　エ 薩英戦争が起こる

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 8　薩長の転換と幕府

ア 慶喜が大政奉還を行う　　イ 薩長同盟が結ばれる
ウ 薩英戦争が起こる　　エ 四国連合艦隊が下関を攻撃する

問 9　同盟から政権交代へ

ア 薩長同盟が結ばれる　　イ 鳥羽・伏見の戦いが起こる
ウ 王政復古の大号令が出される　　エ 慶喜が大政奉還を行う

問 10　政権返上と戊辰戦争

ア 鳥羽・伏見の戦いが起こる　　イ 王政復古の大号令が出される
ウ 慶喜が大政奉還を行う　　エ 江戸城が無血開城する

問 11　新政府の発足後

ア 旧幕府側が箱館で敗れる　　イ 鳥羽・伏見の戦いが起こる
ウ 王政復古の大号令が出される　　エ 江戸城が無血開城する

問 12　外国船の来航と開港

ア ラクスマンが根室に来航する　　イ 幕府が異国船打払令を出す
ウ 日米和親条約が結ばれる　　エ 横浜が開港する

問 13　来航から通商条約へ

ア モリソン号が砲撃される　　イ 日米修好通商条約が結ばれる
ウ 日米和親条約が結ばれる　　エ レザノフが長崎に来航する

問 14　蘭学者の弾圧から開国後へ

ア 桜田門外の変が起こる　　イ 幕府が薪水給与令を出す
ウ ハリスが下田に着任する　　エ 蛮社の獄が起こる

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 15　開国と薩長の動き

ア 日米修好通商条約が結ばれる　　イ ペリーが浦賀に来航する
ウ 薩英戦争が起こる　　エ 薩長同盟が結ばれる

問 16　貿易開始から大政奉還へ

ア 生麦事件が起こる　　イ 慶喜が大政奉還を行う
ウ 横浜が開港する　　エ 四国連合艦隊が下関を攻撃する

問 17　開国と幕府の滅亡

ア 王政復古の大号令が出される　　イ 日米和親条約が結ばれる
ウ 薩長同盟が結ばれる　　エ 桜田門外の変が起こる

問 18　対外政策と政権交代

ア 慶喜が大政奉還を行う　　イ 旧幕府側が箱館で敗れる
ウ ペリーが浦賀に来航する　　エ 幕府が異国船打払令を出す

問 19　下関の戦いから戦争終結へ

ア 江戸城が無血開城する　　イ 旧幕府側が箱館で敗れる
ウ 四国連合艦隊が下関を攻撃する　　エ 薩長同盟が結ばれる

問 20　通商の交渉と新政府

ア ハリスが下田に着任する　　イ 旧幕府側が箱館で敗れる
ウ 日米修好通商条約が結ばれる　　エ 王政復古の大号令が出される

STEP 3 記述問題 20 問

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 1　幕府が 1842 年に異国船打払令を改めた背景と、新しい対応を説明しなさい。アヘン戦争に触れること。

問 2　ペリーの要求に対し、幕府が最終的に開国を選んだ理由を、資料から説明しなさい。
資料　ペリーは艦隊を背景に交渉した。幕府は、清がイギリスと戦って敗れたことも知っていた。

問 3　日米和親条約と日米修好通商条約は、主な内容がどう違うか。貿易の扱いに触れて説明しなさい。

問 4　幕末の通商条約が不平等条約とされる理由を、裁判と関税の二つから説明しなさい。

問 5　開港後の貿易は、商品の生産や人々の暮らしにどのような影響を与えたか。利益と負担の両方から説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 6　開港後、日本の金が海外へ流出したのはなぜか。資料の交換比率の違いを使って説明しなさい。
資料　同じ量の銀で交換できる金は、海外より日本の方が多かった。外国の銀貨は、日本の銀貨に交換できた。

問 7　日米修好通商条約の締結が、幕府への政治的な批判を強めた理由を説明しなさい。

問 8　安政の大獄と桜田門外の変は、幕府の権威にどのような影響を与えたか。二つの事件のつながりから説明しなさい。

問 9　幕府が公武合体を進めたねらいを、朝廷との関係から説明し、具体的な取り組みを一つ挙げなさい。

問 10　尊王攘夷運動は、どのような二つの考えが結び付いたものか。幕府への批判と関連付けて説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 11　薩摩藩や長州藩が、外国を武力で追い払う方針から転換していったのはなぜか。戦争の経験に触れて説明しなさい。

問 12　高杉晋作が組織した奇兵隊は、身分と軍隊の関係について、どのような特色を持っていたか。

問 13　それまで敵対したこともあった薩摩藩と長州藩が、同盟を結んだことにはどのような意味があったか。

問 14　第 2 次長州征討の失敗は、幕府の政治にどのような影響を与えたか。諸藩との関係から説明しなさい。

問 15　徳川慶喜は、どのような状況で大政奉還を行い、返上後の政治について何をねらっていたか。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 16　王政復古の大号令は、大政奉還からさらに政治の仕組みをどう変えようとしたか。

問 17　発展　「開国するまで、日本は外国と全く交流していなかった」といえるか。資料を使って説明しなさい。
資料　開国前も、長崎では中国やオランダと貿易し、対馬を通じて朝鮮との外交・貿易も行っていた。

問 18　発展　「領事裁判権があったので、外国人は日本で罪を犯しても、どこからも罰せられなかった」といえるか。資料を使って説明しなさい。
資料　条約では、外国人の犯罪について、その人の国の領事が裁判する仕組みが定められていた。

問 19　発展　江戸城の「無血開城」を、「日本中で戦闘がなく、政権交代が完了した」と説明してよいか。資料を使って説明しなさい。
資料　江戸城は交渉で開城したが、その後も上野や東北などで戦いが続き、戊辰戦争は 1869 年に終わった。

問 20　発展　幕府から新政府への政権交代を、一つの出来事だけで説明すると、どのような点を見落とすか。資料の順序と意味を使って説明しなさい。
資料　大政奉還：政権返上／王政復古：幕府廃止と新政府の宣言／鳥羽・伏見の戦い以後：新政府軍と旧幕府側の戦争

解答 STEP 1 一問一答

表記が異なっていても、同じ内容を正しく示していれば正解とします。

番号	解答	番号	解答
1	ラクスマン	26	桜田門外の変
2	レザノフ	27	公武合体
3	異国船打払令	28	和宮
4	モリソン号事件	29	徳川家茂
5	蛮社の獄	30	生麦事件
6	渡辺崋山	31	薩英戦争
7	高野長英	32	下関
8	薪水給与令	33	高杉晋作
9	ペリー	34	奇兵隊
10	浦賀	35	薩長同盟
11	日米和親条約	36	坂本龍馬
12	下田・箱館	37	西郷隆盛
13	ハリス	38	木戸孝允
14	井伊直弼	39	大久保利通
15	日米修好通商条約	40	長州藩
16	横浜	41	徳川慶喜
17	領事裁判権	42	大政奉還
18	関税自主権	43	王政復古の大号令
19	不平等条約	44	岩倉具視
20	生糸	45	戊辰戦争
21	茶	46	鳥羽・伏見の戦い
22	金	47	勝海舟
23	尊王攘夷運動	48	江戸城無血開城
24	安政の大獄	49	ええじゃないか
25	吉田松陰	50	世直し一揆

認められる表記の例

問 3：外国船打払令も可。問 11：神奈川条約も可。問 12：函館の表記、順序の逆も可。
問 23：尊王攘夷・尊皇攘夷運動も可。問 36：坂本竜馬も可。問 38：桂小五郎も可。
問 46：鳥羽伏見の戦いも可。問 48：江戸城の無血開城も可。

解答 STEP 2 並び替え

出来事の年代と、その前後のつながりも確認しましょう。

番号	答え	解説
1	ア→エ→イ→ウ	ラクスマンの根室来航（1792 年） → レザノフの長崎来航（1804 年） → 異国船打払令（1825 年） → モリソン号事件（1837 年）
2	ア→イ→エ→ウ	モリソン号事件（1837 年） → 蛮社の獄（1839 年） → 天保の薪水給与令（1842 年） → ペリーの浦賀来航（1853 年）
3	ア→ウ→イ→エ	異国船打払令（1825 年） → 天保の薪水給与令（1842 年） → ペリーの浦賀来航（1853 年） → 日米和親条約（1854 年）
4	エ→イ→ア→ウ	ペリーの浦賀来航（1853 年） → 日米和親条約（1854 年） → ハリスの下田着任（1856 年） → 日米修好通商条約（1858 年）
5	ウ→ア→イ→エ	日米和親条約（1854 年） → 日米修好通商条約（1858 年） → 横浜の開港（1859 年） → 桜田門外の変（1860 年）
6	イ→エ→ア→ウ	日米修好通商条約（1858 年） → 横浜の開港（1859 年） → 桜田門外の変（1860 年） → 生麦事件（1862 年）
7	イ→ア→エ→ウ	桜田門外の変（1860 年） → 生麦事件（1862 年） → 薩英戦争（1863 年） → 四国連合艦隊の下関攻撃（1864 年）
8	ウ→エ→イ→ア	薩英戦争（1863 年） → 四国連合艦隊の下関攻撃（1864 年） → 薩長同盟（1866 年） → 大政奉還（1867 年 10 月）
9	ア→エ→ウ→イ	薩長同盟（1866 年） → 大政奉還（1867 年 10 月） → 王政復古の大号令（1867 年 12 月） → 鳥羽・伏見の戦いと戊辰戦争開始（1868 年 1 月）
10	ウ→イ→ア→エ	大政奉還（1867 年 10 月） → 王政復古の大号令（1867 年 12 月） → 鳥羽・伏見の戦いと戊辰戦争開始（1868 年 1 月） → 江戸城無血開城（1868 年 4 月）

解答 STEP 2 並び替え 続き

番号	答え	解説
11	ウ→イ→エ→ア	王政復古の大号令（1867 年 12 月） → 鳥羽・伏見の戦いと戊辰戦争開始（1868 年 1 月） → 江戸城無血開城（1868 年 4 月） → 箱館で旧幕府側が敗北し戊辰戦争終結（1869 年 5 月）
12	ア→イ→ウ→エ	ラクスマンの根室来航（1792 年） → 異国船打払令（1825 年） → 日米和親条約（1854 年） → 横浜の開港（1859 年）
13	エ→ア→ウ→イ	レザノフの長崎来航（1804 年） → モリソン号事件（1837 年） → 日米和親条約（1854 年） → 日米修好通商条約（1858 年）
14	エ→イ→ウ→ア	蛮社の獄（1839 年） → 天保の薪水給与令（1842 年） → ハリスの下田着任（1856 年） → 桜田門外の変（1860 年）
15	イ→ア→ウ→エ	ペリーの浦賀来航（1853 年） → 日米修好通商条約（1858 年） → 薩英戦争（1863 年） → 薩長同盟（1866 年）
16	ウ→ア→エ→イ	横浜の開港（1859 年） → 生麦事件（1862 年） → 四国連合艦隊の下関攻撃（1864 年） → 大政奉還（1867 年 10 月）
17	イ→エ→ウ→ア	日米和親条約（1854 年） → 桜田門外の変（1860 年） → 薩長同盟（1866 年） → 王政復古の大号令（1867 年 12 月）
18	エ→ウ→ア→イ	異国船打払令（1825 年） → ペリーの浦賀来航（1853 年） → 大政奉還（1867 年 10 月） → 箱館で旧幕府側が敗北し戊辰戦争終結（1869 年 5 月）
19	ウ→エ→ア→イ	四国連合艦隊の下関攻撃（1864 年） → 薩長同盟（1866 年） → 江戸城無血開城（1868 年 4 月） → 箱館で旧幕府側が敗北し戊辰戦争終結（1869 年 5 月）
20	ア→ウ→エ→イ	ハリスの下田着任（1856 年） → 日米修好通商条約（1858 年） → 王政復古の大号令（1867 年 12 月） → 箱館で旧幕府側が敗北し戊辰戦争終結（1869 年 5 月）

解答 STEP 3 記述問題

模範解答は一例です。同じ意味を正しく説明できていれば正解とします。
「採点のポイント」を満たすか確認し、足りない言葉を自分の解答に加えよう。

問題	模範解答	採点のポイント
問 1 対外政策の転換	清がイギリスとのアヘン戦争で敗れたことなどから、外国と戦う危険を強く意識した。幕府は薪水給与令を出し、外国船に燃料や水・食料を与えて帰す対応へ改めた。	清の敗北による危機感と、打払いから補給して退去させる方針への転換を示す。
問 2 開国の判断	外国の軍事力を前に、要求を拒み続けて戦争になる危険を避けようとしたためである。清の例も踏まえ、交渉によって船への補給などを認め、対外政策を転換した。	軍事的圧力と戦争回避の判断を結び付け、交渉による政策転換を示す。
問 3 二つの条約	和親条約は、下田・箱館を開き、船への補給や漂流民の保護などを定めた。修好通商条約は、港をさらに開き、本格的な貿易を認めるとともに、その条件などを定めた。	和親条約の補給・保護と、修好通商条約による本格的な貿易を区別する。
問 4 条約の不平等	外国の領事裁判権を認め、日本で罪を犯した外国人を日本の裁判で裁けなかった。また、関税の税率を日本だけで決められず、関税自主権を欠いていたためである。	領事裁判権の承認と関税自主権の欠如を、それぞれの意味とともに示す。
問 5 貿易と暮らし	生糸や茶の輸出が増え、産地や貿易を行う商人に利益をもたらした。一方、国内の品不足や物価上昇などで、商品を買う人々や国内で原料を使う生産者の生活・経営を圧迫した。	輸出で利益を得る側と、品不足・物価上昇などの負担を受ける側を示す。
問 6 金の流出	外国の銀貨を日本へ持ち込み、日本の銀貨を経て金に替えると、海外より多くの金を得られたためである。その金を海外へ持ち出すことで利益を得られ、金の流出が進んだ。	内外の金銀交換比率の違いを利用し、日本の金を海外へ持ち出す利益を説明する。
問 7 政治への批判	朝廷の許可を得ないまま、外国に有利な条件を含む条約を結んだためである。開国への反発や朝廷を重んじる考えと結び付き、幕府の政治の進め方への批判が強まった。	朝廷の許可を得なかったことと、開国・条約の条件への反発を示す。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 8 弾圧と反発	井伊直弼は反対派を厳しく処罰したが、反発を強めた。直弼が桜田門外の変で暗殺されると、幕府の最高幹部も守れないことが明らかになり、幕府の権威が揺らいだ。	弾圧が反発を招き、大老の暗殺が幕府の権威を弱めた流れを示す。
問 9 公武合体	朝廷と幕府の対立を和らげ、朝廷の権威も利用して幕府の政治を安定させようとした。具体的には、天皇の妹の和宮と将軍徳川家茂の結婚などが進められた。	朝廷との協力による政治の安定というねらいと、和宮の降嫁などの具体例を示す。
問 10 尊王と攘夷	天皇を尊ぶ尊王と、外国勢力を追い払おうとする攘夷が結び付いた。朝廷の許可なしに開国や通商を進めた幕府への批判が、天皇を政治の中心に求める動きと結び付いた。	尊王と攘夷の意味を示し、開国を進めた幕府への批判との関係を説明する。
問 11 攘夷からの転換	薩摩藩は薩英戦争、長州藩は四国連合艦隊との戦いを通じ、西洋の軍事力の強さを知った。外国を排除するだけでは対抗できないと考え、西洋の武器や技術を取り入れる方向へ進んだ。	両藩の戦争の経験と、軍事力の差を踏まえた武器・技術の導入を結び付ける。
問 12 奇兵隊の特色	武士だけでなく、農民や町人なども参加した部隊だった。武士が戦いを担うという身分の枠を越え、さまざまな人々の力を軍事力に取り込む特色があった。	武士以外も参加したことと、身分の枠を越えて戦力を集めた特色を示す。
問 13 薩長同盟の意味	有力な二つの藩が協力し、幕府に対抗する政治的・軍事的な力を強めた。薩摩藩は第 2 次長州征討に参加せず、その後の倒幕運動を進める基盤ができた。	有力な二藩の協力と、幕府への対抗・倒幕運動の強化を結び付ける。
問 14 幕府の権威	幕府が一つの藩を軍事的に押さえ込めず、諸藩を従わせる力の弱まりを示した。薩摩藩の不参加などもあり、幕府の権威が低下し、倒幕をめざす勢力が勢いを強めた。	長州藩を制圧できなかったことを、幕府の統制力・権威の低下と結び付ける。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 15 大政奉還の判断	薩長などの倒幕の動きが強まる中で、朝廷へ政権を返上した。武力による倒幕の理由を弱め、徳川家も有力な勢力として、返上後の政治に影響力を残すことをねらった。	倒幕の圧力を受けた政権返上と、徳川家の政治的影響力を残すねらいを示す。
問 16 王政復古の意味	幕府を廃止し、従来の摂政・関白などの仕組みも改め、天皇中心の新政府を示した。徳川家がそのまま政治を主導することを防ぎ、新しい政権を作ろうとした。	幕府の廃止と天皇中心の新政府を示し、政権返上だけにとどまらない変化を説明する。
問 17 開国と交流	いえない。幕府は相手や窓口を制限しながら、外国との交流を続けていた。開国は交流がゼロから始まったことではなく、欧米との条約で港や交易相手、交流の仕組みが変わったことである。	開国前の具体的な交流と、開国による窓口・相手・仕組みの変化を区別する。
問 18 領事裁判の範囲	いえない。日本の裁判ではなく、その外国人の国の領事による裁判の対象となった。問題は、罪を犯しても処罰が全くないことではなく、日本国内で日本の裁判権が制限されたことにある。	領事による裁判を受けることと、日本の裁判権が制限されたことを区別する。
問 19 無血開城の範囲	よくない。無血開城は江戸城を戦闘なしに明け渡したことを指す。各地ではその後も新政府軍と旧幕府側の戦いが続いており、江戸城の出来事と全国の戦争の経過を分けて考える必要がある。	江戸城での開城と、各地で続いた戦闘・戊辰戦争の終結を区別する。
問 20 政権交代の過程	政権の返上、新政府の宣言、武力による争いは、それぞれ別の段階だった。大政奉還のあとも徳川家の扱いなどで対立が残り、王政復古や戊辰戦争を経て、新政府の支配が固まっていった。	返上・新政府の宣言・戦争を順に区別し、支配の確立が一度に完了しなかったことを示す。